



当協会の事務職員が1名増えました。米川知里さんです。創業補助金事務局を担当しています。3月初旬に着任し、契約期間は今のところ夏までの予定です。平日（月～金）の9時～17時で勤務しています。創業補助金事務局の円

滑な運営に尽力していただいています。会員諸氏におかれましては、日下事務局長、田中事務員ともどもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（副会長 奥村隆生）

委員会報告

1月～5月

●会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
1月10日（金）	企業内診断士祭り“わっしょい”、日銀神戸支店長講演の開催準備
2月19日（水）	H25年度実施イベントなどの総括、H26年度予算の検討
3月19日（水）	第3回総会議案書の会員研修委員会報告の検討
4月16日（水）	H26年度事業計画（基本方針と実施イベントなど活動内容）検討
5月14日（水）	H26年度に実施するイベント・セミナー内容など詳細の検討
【事業報告】 会員研修委員会は、H26年度は診断士協会々員である中小企業診断士の資質・能力の向上と企業内診断士の協会活動への参画の場を提供するためのイベント・セミナーを実施する予定です。会員の皆さんがイベント・セミナーに参加されると共に、会員研修委員会の活動に参画されることを期待しています。	

●受託開発センター

委員会開催日	主な議題
2月12日（水）	平成25年度受託事業の最終見込みの確認 平成26年度受託事業の計画作成
【事業報告】 前年の受託実績は、約15百万円と予算の12百万円を上回った。期間中の委員会は2月1回の開催であるが、各委員は期間中、各担当事業について、平成25年度受託金額の事務局との確認作業、平成26年度の受託元との継続確認作業に取り組んだ。新規案件としては、兵庫県、尼崎信用金庫、西兵庫信用金庫などとの協力を担当委員が継続している。	

研究会スケジュール

問い合わせ先：078（362）6000

●診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
7月10日（木） 18:30～20:30	兵庫県民会館内 302B会議室	製造業の事業継続（承継）・生産性向上等、包括的な経営改善支援策の研究	研究会員全員
※開催日は原則、毎月第2木曜日。時間は18:30～20:30。 ※会場は兵庫県民会館内会議室。			

●地域産業活性化研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
7月 2日 (水) 18:30～20:30	協会事務所	兵庫県下の観光地の実情 ヒアリング調査について	研究会員全員
8月 6日 (水) 18:30～20:30			
9月 3日 (水) 18:30～20:30			
※開催日は原則、毎月第1水曜日。時間は18:30～20:30。 ※連絡先:代表 大場一正 kohba@alles.or.jp (今年度の会員募集は締め切りました)			

編集後記

新入会員、新理事の紹介があり、賑やかな号となりました。また国家戦略特別区域、各種補助金、よろず支援拠点、小規模基本法等、診断士の活躍の場が期待されているようです。消費税の影響も想定内の景気の底堅さを感じられ、どんどん前進しなければという気持ちの今日この頃です。（亀）

No.102

平成26年6月1日発行

診断ひょうこ

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 相 良 紘

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8F
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL:http://www.shindan-hg.com

国家戦略特別区域に 本県から2区域

一般社団法人
兵庫県中小企業診断士協会
副会長

柴谷 真治



3月28日に国家戦略特別区域の第1次指定が発表された。国家戦略特別区域とは、現自由民主党政権が進める経済対策の一つで、地域を限定して規制の運営に自由度を持たせ、地域での経済発展を目指すことであり、その後それらを経済発展モデルとして、他地域への応用にも期待されている。

本年1月30日付けの国家戦略特別区域担当大臣の発表で、国家戦略のテーマの例と指定基準が次のとおり示されている。

テーマ候補

- (1)国際的ビジネス拠点
- (2)医療等の国際的イノベーション拠点
- (3)革新的な農業等の産業の実践拠点等に加え、地方公共団体、民間から提案のあった、エネルギー・環境等のイノベーション拠点等についても、今後検討することとする。

指定基準

- ア)区域内における経済的社会的効果が大きいこと。
- イ)全国的な効果を含め当該区域を超えた波及効果が大きいこと。
- ウ)プロジェクトに先進性・革新性等が認められること。
- エ)区域内の地方公共団体の意欲・実行力が高いこと。
- オ)プロジェクトの実現可能性が高いこと。
- カ)テーマに応じたインフラや環境が整っていること。

既に報道されているとおり、第1回で指定を受けたのは次の6地区で、今後も新たに全国で指定区域が追加されていくようであるが、第1回の指定で兵庫県から2区域が選ばれていることは大変喜ばしいことだと思う。

- (1)東京圏:国際ビジネス、イノベーションの拠点
（東京都・神奈川県の一部、千葉県成田市）
- (2)関西圏:医療等イノベーション拠点、チャレンジ人材支援
（大阪府・兵庫県・京都府の一部）
- (3)新潟県新潟市:大規模農業の改革拠点
- (4)兵庫県養父市:中山間地農業の改革拠点
- (5)福岡県福岡市:創業のための雇用改革拠点
- (6)沖縄県:国際観光拠点

では、それぞれの兵庫県内の特区がどのような活動を計画しているのか、ということについて調べてみた。

神戸市を含む「兵庫県・大阪府・京都府の全部又は一部」は、「関西圏」としての指定で「健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成を通じ、再生医療を始めとする先端的な医薬品・医療機器等の研究開発・事業化を推進するとともに、チャレンジングな人材の集まるビジネス環境を整えた国際都市を形成する」という目標が発表されている。具体的に検討される規制改革としては、医療分野では病床数、外国人医師の活用、保険外併用などで医療都市構想をますます国際化させようという動きにある。また、都市再生・町づくりの分野では、容積率、旅館業法などの規制を緩やかに運営し、外国人が滞在しやすいような施設を準備し、外国からの投資も促すことも狙いの一つとのことである。

一方、養父市は単独で指定された国家戦略特別区域で「高齢化の進展、耕作放棄地の増大等の課題を抱える中山間地域において、高齢者を積極的に活用するとともに民間事業者との連携による農業の構造改革を進めることにより、耕作放棄地の再生、農産物・食品の高付加価値化等の革新的農業を実践し、輸出も可能となる新たな農業のモデルを構築する」という目標が設定されている。こちらの計画で検討される規制改革は、耕作放棄地等の再生のための農業規制の柔軟な運営などで、農業と観光・歴史文化の一体的な展開に期待が寄せられている。

このような国家戦略特別区域は、現自由民主党政権のいわゆる「3本目の矢」の一つである。本制度に限ったことではないが、経済基盤を回復させるためには、現状を積極的に変化させる意欲が必要である。兵庫県でこのようなチャレンジが2例生まれたことでもあり、是非とも両計画の進展に興味深く見守っていき、われわれ中小企業診断士の活動の参考にしたいと考えている。

新入会員紹介



上田 育功（うえだ やすのり）

80年、神戸生まれ。平成26年4月に中小企業診断士の登録をいたしました。三宮を中心に展開する遊技業運営会社に10年間在職し、店長として三宮で店舗運営を行っておりました。去年退職し、現在は実家の製造業を手伝いながら独立の準備をしています。まだまだ駆け出しではありますが、自己研鑽を積み、少しでも中小企業の方々や地域のお役に立てるような診断士になりたいと考えております。ご指導よろしくお願い申し上げます。



大口 憲一（おおぐち けんいち）

昨年9月に診断士登録、ほぼ同時期に入会致しました大口と申します。今まで中小メーカーで生産技術や生産管理の仕事をやってきましたが、今春より大手機械メーカーの生産管理者として新たなスタートを切りました。企業内診断士として、そして兵庫県診断士協会の一員として、少しでも価値ある提案ができるよう、様々な活動に積極的にチャレンジしていこうと考えています。まだまだ若輩者ですが、ご指導の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。



大西 眞由美（おおにし まゆみ）

昨年4月に診断士登録をし、今年2月から会員になりました。自営業である不動産賃貸業と、その前職である消費財メーカーでの商品開発業務の経験を活かし、企業支援をさせていただいております。この1年は新しいことの連続で瞬時に過ぎ去りましたが、数多くの学びを得、特に企業支援をするうえでの心構えと人間力の大切さを痛感しました。いい仕事をするだけでなく、私と出会えてよかったと言ってももらえるよう、今後も努力してゆきます。



柿原 泰宏（かきはら やすひろ）

はじめまして。神戸出身で現在は宇治在住、2009年に診断士になりました。昨年5月にITベンダーを退職し、それを機に兵庫県診断士協会に加入しました。これまで、中小・中堅規模の製造業向けに、ERP、生産管理、原価管理システム導入の支援をしてきました。今後も、IT導入のなかなか進まない中小企業に、IT導入と活用を推進し、支援する活動を行っていきます。特に、宿泊業など観光分野でのIT導入・活用をテーマに取り組んでいます。どうぞ、長くお付き合いをお願い致します。

URL：http://www.kbojp/



兼古 知新（かねこ ともよし）

2014年4月に診断士登録しました兼古と申します。大阪に本社のあるメーカーで、鋳鉄品やセメント製品部門の利益計画や原価管理を担当していました。現在は、関係会社で総務関連の仕事をしています。工場勤務の経験を生かし、現場と経営の両面から企業診断とアドバイスができる存在を目指したいと考えています。よろしくご指導お願いします。趣味：推理小説（英文です）



木之下 尚令（きのした ひさのり）

本年3月に入会させていただきました木之下尚令と申します。1年前に登録し、当初は大阪協会の所属でした。昨年10月より兵庫協会主催の「プロコン育成塾」に参加させていただき、熱心にご指導下さった先輩諸氏ならびに志を一にする皆様と出会い、この繋がりを大切にしていきたいと思い、転籍に至りました。まだまだほんの駆け出しですが、地域を元気にする診断士として活躍できることを夢見ています。何卒よろしくお願い致します。

URL http://www.ut-manajp/



木村 亮介（きむら りょうすけ）

皆さま、はじめまして。中小企業診断士の木村と申します。私は平成25年3月に登録した現在2年目の診断士です。平日は電機メーカーに勤務、週末は診断士活動と充実した日々を過ごしています。診断士活動では、主にものづくり・SCM研究会での活動、診断士有志での勉強会やブログ運営、「ふぞろいな合格答案」シリーズ・月刊「企業診断」での執筆、などいろいろ携わせていただいています。これからも自己研鑽に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

ブログ http://sameblo.jp/smecbiblio/



田中 史（たなか あや）

4月に入会しました田中史です。現在は、神戸市内の社会保険労務士事務所に勤務しています。仕事を通して様々な会社の方とお話しする中で、広い知識を得たいと思い、中小企業診断士の勉強を始めました。今後は、中小企業診断士として企業のお役に立つことができるよう、知識や経験を増やしていきたいと考えています。勉強会などにも積極的に参加させていただきますので、ご指導宜しくお願いいたします。



玉島 剛（たましま つよし）

10年ぶりに兵庫県中小企業診断士協会に移籍してまいりました玉島剛です。長らく務めていました大阪の電機メーカーを退社し、今年は中小企業診断士として活動を始めようと考えています。得意分野は、主にインターネットによる集客や売上拡大とユーザー・サポート、それに、展示会などイベントの企画・運営などです。ふるさと神戸・兵庫を元気にするために尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いします。



堂山 一成（どうやま かずなり）

みなさんはじめまして。平成25年度に登録の堂山一成と申します。青果物流通の経験と野菜ソムリエとしての知識を活用し、農産物の商品開発や物流改善、卸売業者の業務改善を中心に活動を行っていきたくと考えております。特にマーケティング面では実際に野菜講座やマルシェ販売を行い、消費者の声を集めそれに基づいた商品開発や販売支援をする一方で、農家向けにはNPO法人でマーケティング講座や勉強会なども開催しております。皆様、これからもよろしくお願いします。



富松 誠（とみまつ まこと）

神戸市出身の富松です。税理士事務所勤務を経て、2013年1月に独立コンサルタントとして開業しました。昨年は企業再生（7社）やマーケティング支援（6社）、補助金申請を中心に活動しています。経験業種：カフェ、ガソリンスタンド、ピアノ販売業、飲食店、食品加工業、携帯電話ショップ、お箸の製造小売業、家電量販店、タクシー会社、中央卸売市場、インターネット通販、デザイン事務所、果物小売業、造園業等。



西嶋 衛司（にしじま えいじ）

昨年6月に念願の独立を果たし、はや1年が経ちました。多くの皆様の温かいお力添えのおかげで、何とか無事にやってこられました。ありがとうございました。さて私は、「売上を上げること」と「人を育てること」をテーマに仕事をしております。経験が長い住まい関連の業界のみならず、様々な業界・職種の皆様からお声掛けをいただき、おかげ様で経験の幅も大きく広がりました。本当に感謝です。2年目もがんばります。よろしくお願い申し上げます。



古田 貴喜（ふるた たかよし）

はじめまして、古田貴喜と申します。平成26年3月10日に実務補習を終えて、協会の末席に加えていただきました。現在、大阪市内のメーカーにて、経理業務に従事しております。企業内診断士のため活動に制限はありますが、財務管理を中心とした管理的側面から、農業支援を行っていきたくと考えております。33歳と若輩者ではありますが、自己研鑽に励みながら、少しでも地域活性化のお役に立てるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。



三島 悦朗（みしま えつろう）

平成25年度に診断士登録し、現在は企業内診断士として重工系の企業に勤めております。会社内では診断士自体の知名度が低いのですが、診断士の勉強を通じて企業経営とは何かということを俯瞰的に眺められるようになったと感じております。自分が学んだことを企業内で実践していきながら、自社を支えているサプライヤーの方々とともに産業の発展に貢献していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



山崎 正敏（やまざき まさとし）

平成6年登録です。当初1年間は当会に所属していました。平成15年に独立後11年間、大企業・中堅企業向けのコンサルティング・研修を中心として活動してきました。3年前に地元中小企業支援および地域経済活性化に貢献しようという決意し、基軸転換を進めております。当会への復帰を機に、皆さまの力添えを得ながら経営革新等支援機関として経営革新、事業継承・再生、海外展開支援などを実施し、少しでも地域活性化に寄与できればと思っております。

URL：http://ajbp.biz/ http://www.ajbp.jp/

このほか 浦田秀彦、大場正樹、梶原陽二、瓶内栄作、柴崎知己、溝口達也、山元岳司、吉松敏男の8氏も入会されました。

第3回社員総会が開催



社員総会であいさつする
相良会長

(一社)兵庫県中小企業診断士協会第3回社員総会が、去る平成26年5月21日に神戸市産業振興センターにおいて開催されました。

第1号議案「平成25年度事業報告書及び決算計算書の承認に関する件」についての報告と会計監査の結果報告があり、採決の結果第1号議案は可決承認されました。

第2号議案「平成26年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認に関する件」について説明があり、若干の質疑応答の後採決の結果可決承認されました。第3号議案「役員選任に関する件」について審議が行われ、原案通り21名の理事と2名の監事が選任されました。

この後、総会理事会が開催され相良会長および奥村・松浦・柴谷各氏の副会長が再任されたことが総会に報告されました。

また、富田将美氏、松浦敏貴氏、大場一正氏、投石満雄氏、畑英樹氏各会員へ一般社団法人中小企業診

断協会会長より表彰状及び記念品が授与されました。

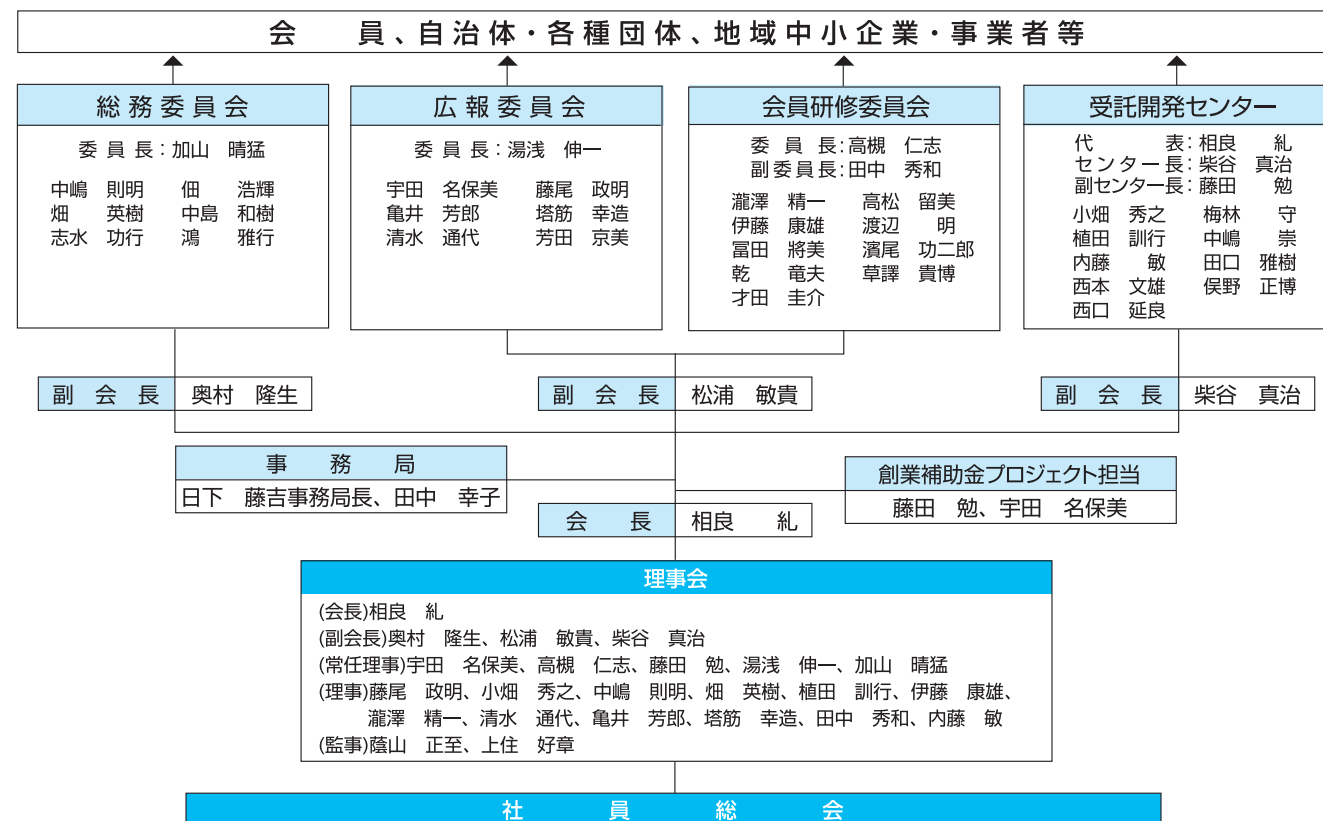
閉会に先だち、ご来賓としてご臨席いただきました兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課課長 法田尚己様、(公財)神戸市産業振興財団専務理事 澤木健夫様よりご祝辞を賜りました。

最後に、柴谷副会長が閉会の挨拶を行い、第3回社員総会は滞りなく終了いたしました。

総会終了後、神戸市産業振興センター・レセプションルームに会場を移し懇親会が催されました。

懇親会には、兵庫県産業労働部、(独法)中小企業基盤整備機構近畿本部、(公財)ひょうご産業活性化センター、(公財)神戸市産業振興財団、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会、神戸商工会議所、兵庫県信用保証協会、商工組合中央金庫神戸支店、日本政策金融公庫神戸支店、日本公認会計士協会兵庫会、近畿税理士会神戸支部、兵庫県立大学大学院よりご来賓の参会を賜り、またそれぞれの代表の方より我が協会の中小企業に対する経営支援活動について期待と叱咤激励のお言葉をいただきました。参会した会員諸氏は、ご来賓の方々との対話を通じ交流を深めさせていただくとともに、和やかな一時を過ごしていました。

(一社)兵庫県中小企業診断士協会 組織図



注) 担務については、今後変更の可能性があります。

新 理 事 紹 介

今年は2年に1度の理事改選の年です。今期から理事の人数を18人から21人に増やしました。今回、上住好章、江尻幸雄、富田将美の3氏が退任され(江尻氏は一昨年度退任済み)、新たに以下の6人が理事になりました。



亀井 芳郎
(かめい よしろう)

コンサルタントとして独立して8年ですが、中小企業診断士としてはまだ3年目の駆け出しです。兵庫県協会に所属してから、何でも経験と色々なことにチャレンジしてきました。

公募セミナー、理論更新研修の講師、公的な経営サポート等々、これら経験の場を与えて下さった協会の方々に感謝申し上げます。これから広報委員として、中小企業診断士の認知度とプレステージ向上に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



瀧澤 精一
(たきざわ せいいち)

今年度、新任理事として就任させていただいた、会員研修委員会所属の瀧澤精一(64歳)です。私はメーカー出身で、退職後に文科省産学連携コーディネーターを拝命し、兵庫県

立大学に派遣されました(5年間)。その後経営学研究科の社会人大学院で中小企業診断士養成コースの事務局を担当し、昨年から個人事業者として活動しています。今後、会員研修委員会を通じて中小企業診断士の実力・品格および社会的評価アップに注力していきたいと考えています。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



塔筋 幸造
(とうすじ こうそう)

神戸を拠点に、コンサルティング活動をさせて頂いておりますが、中小企業には未来がありながら、実現に苦慮されている実情があると感じています。経営戦略の優先順位をつける

だけでも好循環に移行できることを勧奨すると、先輩諸氏が続けて来られた中小企業診断士の役割の拡大は、社会の要請であると考えます。

より一層の兵庫県中小企業診断士協会の広報活動の拡大に尽力したいと強く決意いたしております。
ホームページ・ブログのURL: <http://www.kmba.co.jp/>



清水 通代
(しみず みちろう)

診断士資格の取得は17年前ですが、独立診断士としてはまだ1年7ヶ月の若輩者です。それまでは企業内診断士として、旧組織の大阪支部や東京支部に所属していましたが、独立ま

での数年は活動休止しておりました。当協会へは独立と同時に入会し、現在BSC研究会や広報委員会に所属しております。県下最大のコンサルティング集団である当協会の知名度アップのために、微力ではありますが尽力したいと思います。



田中 秀和
(たなか ひでかず)

こんにちは、このたび理事に就任させていただくことになりました田中秀和です。診断士登録は20年以上も前なのですが、協会会員になったのは8年前です。登録以来、そ

の多くを企業内診断士として過ごしてきました。今後はこの経験を活かし、会員研修委員会のメンバーとして一人でも多くの方に、「会員でよかった」と感じていただけるように努めていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



内藤 敏
(ないとう さとし)

受託開発センター所属の内藤です。このたび、新しく理事に就任しました。

中小企業を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化や技術革新が進展しています。それ

らに対応するため、コラボレーションや専門家へのニーズも高まってきています。中小企業を支援する私たち中小企業診断士を取り巻く環境も大きく変わっています。考えることは言うまでもなく大切ですが、行動が伴わなければ何も変わりません。変化のスピードに対応できるようアクティブに行動し、中小企業診断士が活躍できるフィールドを広げてまいります。

(平成25年度補正)
中小・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業
採択企業紹介

カクテル用の純米酒を開発 ～山名酒造株式会社(丹波市市島町)～

当社は、創業享保元年(1716年)創業の酒造会社で、丹波但馬地域では、最古の日本酒の蔵元である。江戸時代は「千歳」という酒銘であったが、明治維新の際、もう一つ上を目指す意味を込めて「萬歳」と酒銘を変更した。昭和29年に法人を設立し、現当主は11代目となる。

300年近く酒造り一筋で昔ながらの製法を守り、古来伝わる純米酒が製造の中心である。また、近年は酒銘を「奥丹波」として売り出したところ、極めて好評を博したため、現在では、すべての酒銘を「奥丹波」として製造・販売している。

取り組みの内容

自家製ハーブ(ミント)を使った日本酒カクテルを製造・販売する予定であるが、そのためにカクテルのベースとなる独自の酸持った純米酒を開発する。

開発予定のカクテル用の純米酒は、ハーブ、甜菜糖(てんさいとう)を入れてソーダで割っても、日本酒の旨味を感じることができるものである。

日本酒のトレンドは、かつての雪国系の淡麗タイプから芳醇(コクがある)タイプに変わっており、現在ではやや酸が多いものが主流になっている。

ただ、当社が開発を予定している純米酒は、通常とは全く違う酵母を使うため、酸度がきわめて高く、

そのままではやや飲みづらい、言わば酸っぱい酒である。

さらに、味に複雑味を持たせるため、精米歩合を80%程度にとどめる予定である(通常の純米酒は、精米歩合60%(米を約40%削る)前後が主流である)。

また、開発した純米酒で作ったカクテルは当社でも提供する予定で、蔵の敷地内に軽食とともにカクテルを味わえるスペース「蔵カフェ」を開設する予定である。



山名酒造の蔵人の皆さん

(広報委員会 藤尾 政明)



24年度補正は168件を採択

創業補助金プロジェクト兵庫県事務局

平成24年度補正予算プロジェクト (プロジェクトマネージャー 宇田 名保美)

「補助金目当てではなく、本当に活用することができる創業者に利用していただくために」をモットーにプロジェクトを実施しています。昨年度は会員の皆様(延べ140名)に応募の事前相談業務、施策の広報活動、審査等、幅広いご協力をいただきました。

平成25年3月から平成26年2月末までに全3回の応募、6回の締切(先行審査含む)があり、それぞれの広報活動、募集、審査が終了しました。採択された創業者(168名)は認定支援機関の支援のもと補助事業を実施しています。兵庫県の採択者の中にはテレビや雑誌等で紹介されたり、デパートの催事に出店された方もいらっしゃいます。

補助金は事業実施後に補助対象経費についての証憑を確認し、交付される金額が確定します。平成26年6月からは、採択者に対する確定検査やフォローアップを実施する計画です。協会会員の皆様のご協力をお願いいたします。

		補助対象期間終了日
第一回	二次	平成26年5月31日
第二回	一次	平成26年7月31日
	二次	平成26年8月31日
第三回	先行	平成26年9月30日
	最終	平成26年9月30日



事務局の様子

平成25年度補正予算プロジェクト (プロジェクトマネージャー 藤田 勉)

本年度の事業につきましては、プロジェクトマネージャー藤田勉、プロジェクト担当者志水功行が運営しています。また、県協会事務所にて、派遣社員が6月末までプロジェクト業務をサポートしています。

本事業は平成27年8月末に完了し、完了報告(27年9月末)、確定検査、補助金支払(平成27年11月末)への対応業務が計画されています。

書面審査、地域審査の担当者に関しては、当協会会員に対して公募を行い、応募された会員に対する公平性を重視して担当依頼を行うことにしています。

確定検査に関しても、可能な限り同じ方針で対応したいと思います。

募集期間	平成26年2月28日(金)～平成26年6月30日(月)17時(必着)	
	締切	採択発表
先行締切	平成26年3月24日(月)17時(必着)	4月下旬 採択件数:12件
最終締切	平成26年6月30日(月)17時(必着)	8月下旬